

農産FAX情報 第4号

令和6年7月1日

発行：ゆとりみらい21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 秋まき小麦

(1) アブラムシ防除

○一部生産ほ場で発生が確認されています。寄生穂率が45%を超えると減収するため、発生状況を見て薬剤防除を実施してください。

2 てんさい

(1) ヨトウガの防除

○発生状況を確認し、若齢幼虫のうちに防除を行きましょう。

(2) 褐斑病の防除

○南十勝で初発が確認されました。高温多湿条件で発生が増加します。天気予報を注視し、予防防除を行ってください。

表1 褐斑病の防除薬剤例

薬剤名	成分名	使用倍率	使用時期	使用回数
ダコニールエース	TPN	750倍	30日前	3回以内
ムケツDX	マンゼブ メチルテトラプロール	500～ 800倍	21日前	3回以内

3 ばれいしょ

(1) 疫病の防除

○18～20℃の多湿条件で発病しやすくなります。予防防除に努め、降雨が予想される場合は、ダブルインターバル(14日間の防除間隔)効果のある薬剤を使用しましょう。

(2) 軟腐病の防除

○高温多湿条件で発生が多くなります。また、倒伏等により茎葉が傷つくと発生が助長されるため、気象・茎葉の生育状況に合わせて防除を行きましょう。

○オキシリニック酸剤およびストレプトマイシン剤は耐性菌が出現している地域があります。

こまめな水分補給で熱中症対策を！

農薬のドリフトに注意！！

安全確認で農作業事故防止！